

京都の改革

3

文化遺産に恵まれた
京都が地域に目を向け
る教育に力を注ぐ。

京都市動物園のサル山に
12日、1日だけの風呂が出
来た。女子中学生が果物を
投げ入れると、サルが次々
と風呂に飛び込み、家族連
れやカップルから歓声が上
がる。サル山のプールをお
湯で満たし、風呂につかる
サルを冬の動物園の新たな
観光資源に、という企画は
大成功。実は、地元の中学
生が発案者だった。

校区内に平安神宮や銀閣
寺も抱える市立岡崎中学校
では、2年生の総合的な学
習の時間を使って、グルー
プごとに観光振興策を研究
させた。2クラス計約20の
プランから、11月に学年全
体で八つを優秀企画に選ん

教育ルネサンス

No 516



サル山の風呂のアイデアを企
画した地元、岡崎中の生徒2
人（手前、京都市動物園で）



だ。地元の伝統野菜「鹿ヶ
谷かぼちゃ」を使ったフリ
ンや、独自の散策コースカ
イド……。サル山の風呂も
その一つだった。

＊
地元の文化遺産にちなん
だクイズ集「岡崎検定」と
いう優秀企画もある。「観
光地の説明も、クイズなら

クイズで知る文化遺産

観光客に気軽に読んでもら
えると思った」と発案者の
一人、松原慧君（14）。
京都市には、ご当地検定
として京都商工会議所主
催の「京都・観光文化検定」
がある。市教委はこれにな
らい、今年度からジュニア
版「歴史都市・京都から学
ぶジュニア日本文化検定」

を始めた。それだけに、市
教委は岡崎検定に注目、
「ジュニア」の設問の一部
に活用した。

ジュニア版は知識を問う
だけではない。茶道や華道
など京都らしい体験と、そ
の感想文を課す。地域を見
直すきっかけ作りが目的。
行事や風習について、家族
と話す機会になることも期
待している」と市教委家庭
地域教育支援課長の大黒喜
裕さん（42）が説明する。

基礎、発展、名人の3コ
ースがあり、昨年11月、ま
ず全市立小学校で約2万人
の5、6年生が基礎コース
を受けた。今月の発展コー
スは、希望者が自宅に届い
た問題に答えて送り返す。

＊
06年度の教員採用試験で
は、京都の歴史や文化に関
する設問の比重も増えた。
市教委内には「京都に修

習した教員は多い」という
声も聞かれる。市教委は、
歴史や文化をどう教えるか
の試金石にもなりそうだ。

（木田滋夫）

ご当地検定 「地域検定振興協議
会」（東京）によると、地域検定は
全国で85件あり、来年度はさらに16件が
加わる見込み。同協議会では、ガイド養
成を目的とした「観光人材育成型」、地
域の歴史・文化の知識を問う「地域学型」
など五つに分類。秋田県の「ナマハゲ伝
導士認定試験」といった検定もある。

「岡崎検定」解答 ①B②B③C④C⑤B

学旅行に行かないのは京都
の子だけ」という見方があ
る。背景には、せっかくの
文化遺産が、これまで教育
に十分に生かされてこな
かったという反省もある。

改正教育基本法には、教
育の目標として「伝統と文
化を尊重し、それらをはぐ
くんできた我が国と郷土を
愛する」という条文が加わ
った。義務的検定の先に「愛
国心の強制」を見る市民も
いないわけではない。

ジュニア検定は、地域の
歴史や文化をどう教えるか
の試金石にもなりそうだ。